及其他の人々の間で製造，賞美され，小林も嘗て味はったことのあるブザ（ロシア語のБуzа，中国の当て字：不乍）に似ている。もしシッキムを含めて中近東の民間の酒の材料と味に共通点があるとすれば，これも面白いことである。Hutchinson によればアッサムの Khasi Hill で米を使用する餅麴の製造業者が木の葉と *Aspergillus flavus* との関係を永い間の体験から識って居ったらしいことを述べているが，これなどは日本酒の起源に関係ありそうな話である。

最後に面白い材料を提供された原寛隊長及和田格博士，其他の隊員に心からの敬意を表したい。

○ガクウツギの紅花品（檜山庫三） Kôzô HIYAMA: *Hydrangea scandens* Ser. forma *rosea* Hiyama

武州南多摩郡浅川町の中沢の谷でガクウツギの紅花品を採集した。花は鮮かな紅色で装飾花の萼片の内面が帯色して甚だ美しい。これに似たことはノリウツギでも見られて，ベニノリウツギ [*Hydrangea paniculata* Sieb. forma *rosea* Makino, Ill. Fl. Nipp. pl. 4 (1940) cum diagn. jap.] と称されている。しかし，ベニノリウツギの方は花が終って装飾花が点頭してから萼片の外面が紅色又は紅紫色に色づいてくるものであるのに，ここに記すものでは開花時の萼片に色彩が現われる点で大いに異なる。これは1株見つけただけであったが，株はよくできた大きなもので，総ての装飾花が紅色に染まっているので，周辺の白花のガクウツギに混って，ひときは目立っていた。これをベニガクウツギ (*Hydrangea scandens* Ser. forma *rosea* Hiyama) と称することにする。

Hydrangea scandens (L. fil.) Ser.

forma **rosea** Hiyama, nov. f.

In floribus radiantibus sepala supra (intus) laete purpureirosea sub anthesi. Inflorescentia pulchra.—Nom. Jap. Beni-gaku-utsugi, nov.

Hab. Hondo: near Mt. Takao, Prov. Musashi (K. Hiyama, May 28, 1961-type in Makino Herbarium)

（牧野標本館）